



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

発行責任者 宮島喜文

編集責任者 深澤憲治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722

ホームページ <https://www.jamt.or.jp>

P1 2023年度 医療技術部門管理資格認定制度 集合研修(夏)を開催!

P2~P3 2023年度 日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会開催のご案内

P4 令和5年度 認定救急検査技師制度 第3回 指定講習会(中部地区)開催報告 /全国「検査と健康展」2023

P5 都道府県技師会 各地での取り組み(東京都編)

2023年度 医療技術部門管理資格認定制度 集合研修(夏)を開催!

この制度は臨床検査部門だけの管理者に留まらず、将来それぞれの職場で医療技術部門のリーダーや経営管理も担える人材を育成するために創設された認定制度です。連携する大学院とコラボし、事前にeラーニングでの講義を受け、一定レベルの内容を習得、夏と秋に行われる集合研修を受けることで受験資格が得られます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン研修となりましたが、本年度は、8月19日(土)~20日(日)の2日間、夏の集合研修が開催されました。夏の集合研修は「医療版論理的思考&コミュニケーションをマスターする」をテーマに、12名が受講し、自分の意思を正確に伝え、相手を納得させるための相手の立場に立った考え方・話し方、交渉力や折衝力といった管理者に必要なスキルを学びました。

【1日目】

オリエンテーション

論理的思考

- ①ダイジェスト版(イシューを押さえる)
- ②ダイジェスト版(イシューを押さえる、枠組みを考える)、
演繹法・帰納法
- ③イシューを特定する、枠組みを考える

講師：株式会社wish-alize 代表取締役CEO 谷内 要亮

【2日目】

論理的思考

- ④仮説を立て検証する、課題解決ステップの構築

論理的思考 コミュニケーション編

- ①バーバルコミュニケーション、総合演習
- ②ノン・バーバルコミュニケーション①(コーチング基礎)
- ③ノン・バーバルコミュニケーション②(コーチング基礎)

講師：株式会社wish-alize 代表取締役CEO 谷内 要亮

(敬称略)

◇ 参加者からの感想 ◇

屋良 朝仁(国立国際医療研究センター病院)

「医療版論理的思考&コミュニケーションをマスターする」をテーマとして、密度の濃い2日間の研修でした。端的には「クリティカルシンキング(ロジカルコミュニケーション)とコーチングの手法を用いてリーダーシップとマネジメントを理解する」ということを、講義とグループワークで様々な手法や考え方、フレームなどを用いながら、実践形式で現場でも使えるような知識や技術を学びました。

「問題の本質の見極め方」や「無意識の意識化」など、できそうで無意識にバイアスがかかってしまう実習に参加者全員が驚嘆する場面もあり、新しい境地を感じる程でした。

人と密接に関わる現場に合ったマネジメントスキルこそ今後台頭してくるAIには到底到達できない領域であり、私たちにとって必須の能力であると考えます。あとは実践あるのみですが、多くの方々が知識として知っておくことが相互作用を起し、未来の臨床検査技師業界の成長や発展に大きく関わってくるのではと感じました。

末筆にはなりますが、本研修の企画から実施までご尽力された関係者の方々に心から感謝申し上げます。

堀 憲治(伊那中央病院)

冒頭、講師の谷内先生から「この講義で学ぶことは2つ!①課題を特定し、解決する手法、②コミュニケーションする手法…」とお話がありました。日頃の仕事で問題解決はしているし、部下とのコミュニケーションも努力しているし…と当初自分は考えていました。しかしその解決プロセスは、実は人間や環境あらゆる「前提」で支配されており、いかに感情的に、経験的に処理していたかを、徹底的に思い知る2日間になりました。「クリティカル・シンキング」を学ぶ本研修の大半は「イシュー(今ここで考えるべきこと)を押さえる」ということに慣れるための演習に費やされますが、谷内先生の伏線たっぷりの導入から、グループワークでの楽しいアイデア出しの時間は、2日間では足りないくらいの充実感と脳内疲労感(いい意味で)を味わえました。医療技術部門管理資格認定を志す方のみならず、部門責任者を担当された若手中堅の技師さんなども含め多くの皆さんに体験していただきたい研修会です。

2023年度 日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会開催のご案内

2023年度 日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会を下記のとおり開催します。

報告会では、全ての部門担当委員より調査解析結果を詳細に報告します。トライアルで実施したバーチャルスライドを用いた調査結果についても総括します。分析結果により見えてくる問題点の洗い出しから、是正改善のポイントに至るまで、貴施設の内部精度管理の一助となる絶好の機会となります。本報告会を有効にお役立てください。

また、本報告会は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「2類相当」から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられましたが、引き続き「基本的な感染防止対策」を堅守し開催します。マスクの着用等お願いします。当日は係員の指示に従ってください。

開催案内

会期：令和5年11月25日（土）

午前9時30分～午後5時00分 予定

会場：幕張メッセ 国際会議場2F

コンベンションホール

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 2F

交通：◎JR京葉線「海浜幕張駅」徒歩5分

◎JR総武線・京成線「幕張本郷駅」から「幕張メッセ中央」行きバスで約17分

会場周辺地図は、「幕張メッセ」のホームページを参照ください。<https://www.m-messe.co.jp/access/>

内容（予定）：

検査部門ごとに調査項目数が異なる点を考慮した報告時間の配分など、より効果的な報告会といたくご理解、ご協力をお願いいたします。

受付：9時00分～

2023年度 日臨技臨床検査精度管理調査報告
(敬称略、順不同)

臨床化学検査	永井 謙一
免疫血清検査	久保 光史
微生物検査、POCT(感染症項目)	中村 竜也
血液検査	福田 幸広
細胞検査	遠藤 浩之
一般検査	大沼 健一郎
生理検査	坂下 文康
	山村 展央
	中野 英貴
	堀内 正志
	山本 雅史
輸血検査	福吉 葉子
病理検査	坂根 潤一
遺伝子検査	三澤 慶樹
SARS-CoV-2遺伝子(核酸増幅)	中桐 逸博
バーチャルスライドを用いた調査	石田 克成

※演者、発表順、発表形式が変更になる場合があります。

生涯教育研修制度：基礎教科20点

募集人数：会員（Webによる公募）800人 +
非会員（申込書による公募）50人
= 合計 850人 ※先着順となります。

参加費：無料

参加資格等：「2023年度日臨技臨床検査精度管理調査」を受検した施設の方

申込期間：令和5年10月3日（火）～10月23日（月）
(定員になり次第締め切り)

申込要領：日臨技会員の方は、会員専用ページの「事前参加申込」からお申込みください。

当会会員の方は、当日参加受付をしますので、**会員証を忘れずにご持参ください。**

非会員の方は、ホームページに掲載の申込書に必要事項をご記入し、FAXで下記までお申込みください。

※お申込み締切後は一切受けません。

※開催案内をよくお読みください。

申込先：〒143-0016 東京都大田区大森北4-10-7
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
TEL 03-5767-5435 FAX 03-3768-6722

資料：当日配布する紙資料はありませんが、開催期間中のみWeb上でデータ資料が閲覧できます。
※館内にフリーWi-Fi環境はありません。

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

注意事項：

- 参加は事前参加受付のみとなり、申込み締切後のお申込み（定員に達した場合も含む）、当日参加のお申込みはお受けできません。
- 代理出席は一切認めません。
- 会場内ではマスク着用と手指消毒のご協力をお願いいたします。
体温が37.5℃以上の方、体調が優れない方は、入場をお断りさせていただきます。
※運営担当者の指示に従わない場合は、参加をお断りする場合があります。

持ち物：

【会員】 **会員証**、ネームカード※

【非会員】 **申込書（当会受理済）**、ネームカード※

※申込みが確定された方のみ開催約1週間前より順次発送予定です。

時 程

開催日時：令和5年11月25日（土）午前9時30分～午後5時00分

開催場所：幕張メッセ 国際会議場 2F コンベンションホール

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 2F

9:00～9:30 受付

9:30～9:50 開会、会長挨拶

司会 長沢 光章
日本臨床衛生検査技師会 代表理事会長 宮島 喜文

【 第1部 】

司会 桑原 喜久男

9:50～11:15 生 理

【心電図】 山村 展央（市立八幡浜総合病院）
【超音波】 中野 英貴（小張総合病院）、堀内 正志（東京都立松沢病院）
【呼吸機能】 山本 雅史（北海道大学病院）
【神経生理】 坂下 文康（三重県立総合医療センター）

11:15～11:25 質疑応答Ⅰ（生理）

11:25～11:30 休憩

【 第2部 】

司会 益田 泰蔵

11:30～11:50 病 理 坂根 潤一（静岡県立総合病院）
11:50～12:15 細 胞 遠藤 浩之（済生会新潟病院）
12:15～12:30 遺 伝 子 三澤 慶樹（東京大学医学部附属病院）
12:30～12:45 SARS-CoV-2 遺伝子（核酸増幅） 中桐 逸博（川崎医療福祉大学）
12:45～13:00 質疑応答Ⅱ（病理、細胞、遺伝子、SARS-CoV-2 遺伝子）

13:00～13:40 昼休み

13:40～14:00 バーチャルスライドを用いた調査の総括

司会 滝野 寿
広島大学病院 石田 克成

14:00～14:15 今後の日臨技精度管理調査について

日本臨床衛生検査技師会 専務理事 滝野 寿

【 第3部 】

司会 長沢 光章

14:15～14:30 一 般 大沼 健一郎（神戸大学医学部附属病院）
14:30～14:50 微 生 物・POCT（感染症項目） 中村 竜也（京都橋大学）
14:50～15:10 輸 血 福吉 葉子（熊本大学病院）

15:10～15:25 質疑応答Ⅲ（一般、微生物、POCT、輸血）

15:25～15:30 休憩

【 第4部 】

司会 藤田 孝

15:30～15:55 臨床化学 永井 謙一（済生会川口総合病院）
15:55～16:15 免疫血清 久保 光史（済生会和歌山病院）
16:15～16:40 血 液 福田 幸広（船橋市立医療センター）
16:40～16:55 質疑応答Ⅳ（臨床化学、免疫血清、血液、精度管理調査全般）

16:55～17:00 閉会の挨拶

精度管理部会 担当専務理事 滝野 寿

※演者、発表順、発表形式が変更になる場合があります。

令和5年度 認定救急検査技師制度 第3回 指定講習会(中部地区)開催報告

テーマ：症候としての腰・背部痛疾患とその初期診療 ～大動脈疾患、消化器疾患を中心に～

認定救急検査技師制度指定講習会は、救急診療の情報を把握し救急診療を理解すること、救急患者に対して現状の検査機器を有効に用い安全・迅速・円滑・適切な検査ができる技術や知識、といった認定救急検査技師に必要な知識・技術を習得するため、認定試験受験及び資格更新に受講が必須となっています。

今回は愛知県で行われた第3回指定講習会を受講しての感想をご紹介します。

受講者の声

原田 康夫（江南厚生病院）

認定救急検査技師精度指定講習会は多くの技師が会場を埋めた。私は資格更新が目的であったが会場の多数は認定資格を目指す（そうであって欲しい）技師が占め、今後の展望が明るいと期待したい。さて、今回は総論、BLSと「腰背部痛」をテーマに実際の治療、臨床検査技師に役立つ知識などを多職種の視点から講演された。臨床的な内容は日常的に検査室内で業務する技師には新鮮であり多くの参加者に刺激を与えたと思う。臨床検査技師としてタスクシフトが求められる昨今、救急の現場にもその可能性が秘めていると感じている。しかし、活動の場が得られず残念だが認定更新を諦める技師も目の当たりにしている。認定救急検査技師が活躍する場を得るため今後の活動が重要であると感じる。現状を改善すべく認定救急検査技師が臨床と協議し活動の場を広げ、実績を作り認知度を上げることが期待されていると感じる。継続する努力により加算など医療機関が取り組みやすい環境へ導く可能性もある。今後も講習会に多くの臨床検査技師が参加し、刺激を受け、共感し、認定救急検査技師が発展することを期待したい。



講習会の様子



全国「検査と健康展」2023

11月11日は「臨床検査の日」です。日臨技では毎年11月を「臨床検査と健康・普及啓発月間」と定め、一般の方々に床検査技師という職業を知っていただくため、さまざまな企画を盛り込んで国民参加型の全国「検査と健康展」を全国各都道府県で実施しています。今年は全国47都道府県で開催を予定しています。会員の皆様におかれましても、ご家族、ご友人、知人の方へお声掛けいただき、お近くの会場に是非、ご参加ください。

中央会場：滋賀県 イオンホール草津

日時 令和5年11月12日(日) 10:00～16:00

入場無料

様々なコーナーを準備してお待ちしております。

※中央会場以外にも各地で開催されています。

全国各会場の開催日程・会場は当会HPの特設ページでご確認ください。

<https://www.jamt.or.jp/kenken/>



近くの会場に
行ってみよう!

都道府県技師会 各地での取り組み(東京都編)

全国47都道府県それぞれに臨床(衛生)検査技師会があります。各都道府県技師会では日臨技と連携した活動のほか、地元の医療関連団体や自治体、時には企業とも協力して地域に根差した独自の活動を行っています。今回は、東京都技師会にて新入職者や異動等で別分野に移られた方を対象とした「初級研修会」についてご紹介いたします。

都臨技「初級研修会」について

公益社団法人 東京都臨床検査技師会
常務理事 山方純子

東京都臨床検査技師会(都臨技)では公益法人への移行に合わせてこれまでの6地区制から4支部制へと移行し、2014年度から支部研修会をスタートさせました。この支部研修会をスタートさせるのにあたり各学術研修会参加者にアンケートを実施し、開催場所の偏在性や研修会内容に対する要望を受け、研修会の内容は基礎とし、4支部にて同一内容の研修会を開催することになりました。

また、2016年度からは研修会で使用するテキストを各会員へ配布していましたが5年を迎え、受講者アンケートを行った結果、名称からどのような研修会かわかりにくい、他の支部に参加しても良いのかわからないという意見が多く寄せられたため、2019年度からは名称を「初級研修会」と変更し開催することになりました。

4月から新たに入職された方や配置換えなどで新しい分野で業務をする方々にも役立つように基礎的な内容となっております。

コロナ禍で会場の対面での研修会ができなくなり、Webでの研修会として開催方法は変わりましたが「初級研修会テキスト」は継続し各自に配布しています。研修会の内容も開始当時は血液検査、微生物検査、病理・細胞診検査、免疫血清検査、輸血検査、生理検査、一般検査、臨床化学検査の8研究班でしたが2022年度は公衆衛生検査と遺伝子・染色体検査が加わり、更に2023年度からは臨床検査情報システム研究班が入り、都臨技の全11研究班からのコンテンツができました。

2023年度の内容をご紹介しますと、血液検査研究班「血液学的検査の基礎～血算・血液像・凝固系検査～」、微生物検査研究班「初心者のための薬剤感受性検査～検査の基本と結果を見るポイント～」、病理・細胞診検査研究班「病理・細胞診における染色法につ



【初級研修会テキスト目次】	
○ 血液検査研究班	1
血液学的検査の基礎～血算・血液像・凝固系検査～	1
○ 微生物検査研究班	17
初心者のための薬剤感受性検査～検査の基本と結果を見るポイント～	17
○ 病理・細胞診検査研究班	31
病理・細胞診における染色法について	31
○ 免疫血清検査研究班	45
免疫血清検査の基礎知識	45
○ 輸血検査研究班	65
輸血検査の基礎～血液製剤の取り扱いと適正使用について	65
○ 生理検査研究班	65
心電図・呼吸機能検査の基礎	65
○ 一般検査研究班	77
初心者のための尿沈渣入門	77
○ 臨床化学検査研究班	89
正確なデータを提供するために考えること～分析機器トラブルシューティングを中心に～	89
○ 公衆衛生検査研究班	99
採血～これから始めるみなさまへ～	99
○ 遺伝子・染色体検査研究班	113
染色体検査および遺伝子関連検査の基礎	113
○ 臨床検査情報システム研究班	125
ISOの基礎知識	125

2023年度 初級研修会テキスト・目次

いて」、免疫血清検査研究班「免疫血清検査の基礎知識」、輸血検査研究班「血液製剤の取り扱いと適正使用について」、生理検査研究班「心電図・呼吸機能検査の基礎」、一般検査研究班「初心者のための尿沈渣入門」、臨床化学検査研究班「正確なデータを提供するために考えること～分析機器トラブルシューティングを中心に～」、公衆衛生検査研究班「採血～これから始めるみなさまへ～」、遺伝子・染色体検査研究班「染色体検査および遺伝子関連検査の基礎」、臨床検査情報システム研究班「ISOの基礎知識」になります。

研修会につきましては都臨技HP(リニューアル予定)の会員ページより見逃し配信も準備中です。

是非、都臨技へご入会いただき、テキストと共に新人教育や自己研鑽の一つとして活用していただけますと幸いです。

令和元年の定款改定により、同年12月1日以降、日臨技のみの入会はできなくなっております。それ以前にご入会の日臨技のみ会員の皆様は、ぜひ都道府県技師会へご入会ください。



(編集後記) 空を見上げた時の空模様や虫の声から秋を感じることも多くなってきました。

学生は、文化祭や体育祭に向けて練習をがんばっている姿、植物も大きな実をつけ、実りの秋を迎えようとしています。支部学会を向かえる先生方もラストスパートで頑張っていると思います。秋は学会シーズン、私も引き出しを増やせる取り組みをしたいと思います。暑さも和らぎ、学びに集中できる時期に様々な引き出しを一緒に増やしませんか。

(今川)